

# GINGA REPORT 401

No. 87  
2022.08

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和4年8月1日  
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム  
電話：059-355-2700

## 8月の星空

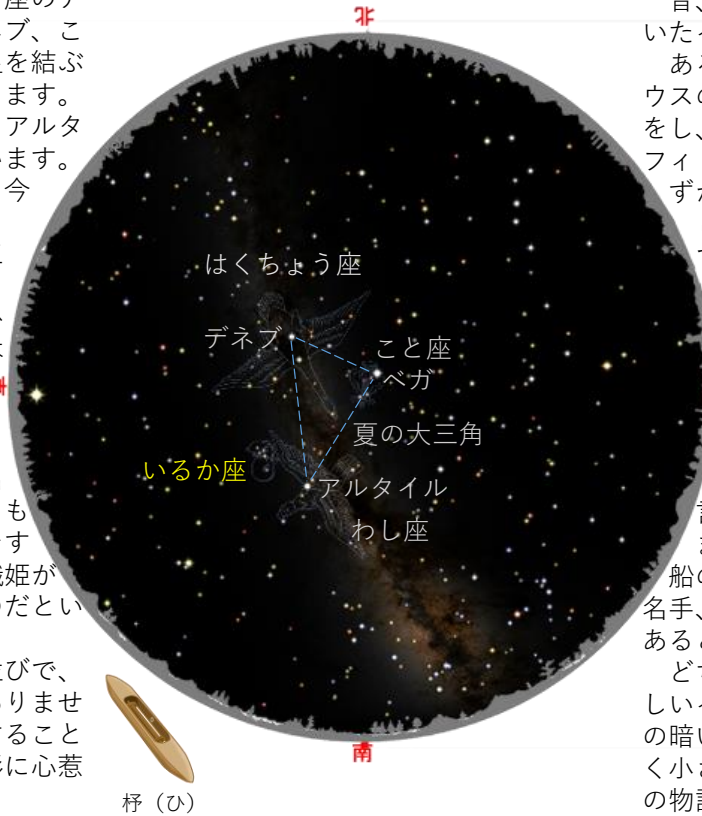
星図：ステラナビゲータ11/(株)アストロアーツ

### ひっそり輝く星座

夏の夜空で有名なのは、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブ、こと座のベガです。この3つの星を結びと夏の大三角を作ることができます。そのうちベガは七夕の織姫星、アルタイルは彦星としても知られています。今年の旧暦の七夕は8月4日、今頃がちょうど見ごろの星です。

そんな彦星の近く、夏の大三角の東に小さく輝く星座がいます。いるか座です。いるか座は綺麗なひし形の星並びをしており、日本でもトランプのダイヤの形に似ていることから「ひしぼし」と呼ばれ親しまれてきました。さらに日本には一文字違いの名前で「籽星（ひぼし）」というものもあります。これは機織りをする際に使う道具※で、怒った織姫が彦星に向かって投げつけたものだという話が伝わる地域もあります。

いるか座は非常に小さな星並びで、目印となるような明るい星はありません。ただ、一度その姿を目にすることが出来れば、可愛らしいその形に心惹きつけられることでしょう。



8月15日21時の星図

### 可愛いいるか座

昔、海の神ポセイドンが可愛がっていたイルカがいました。

ある時ポセイドンは、海の老神ネレウスの娘の中で、アムフィトリテに恋をし、求婚しました。ところがアムフィトリテは、まだ若すぎたので、恥ずかしがって海中深く潜って隠れてしまい、ポセイドンがいくら探しても発見できなかったのです。

そこでポセイドンは、イルカに彼女を探すように命令しました。するとイルカはまたたくまに居所をつきとめ、アムフィトリテを探し出しました。イルカはポセイドンに大いに感謝され、天で星座にしてもらったと言われています。

また別の物語では、このイルカは船の上で襲われそうになった豎琴の名手、アリオンの命を助けたイルカであるとも伝えられているのです。

どちらの物語にしろ、賢くまた心優しいイルカが描かれています。ぜひ夏の暗い夜空にひっそり輝く、可愛らしく小さいいるか座を見つけ、この2つの物語を思い出してみてください。

## 今月の天文トピック

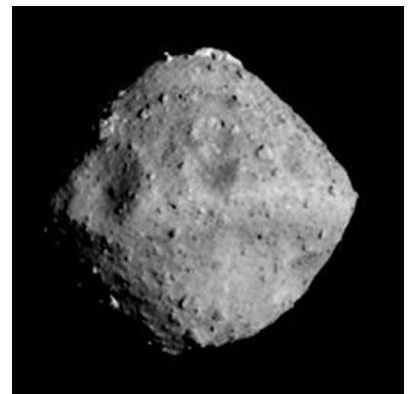
### 小惑星リュウグウ

©JAXA、東京大、高知大、立教大、名古屋大、千葉工大、明治大、会津大、産総研

地球などの惑星は、元は小さな天体が集まってできたと考えられています。しかし惑星が誕生する過程で、惑星をつくった元の物質についての情報は失われてしまいます。ところが、小惑星や彗星の多くはそれぞれが太陽系で生まれた時代と場所の記憶を比較的良くとどめているため、こうした天体を探査することで太陽系がどのように進化してきたか、また地球生命の原材料が宇宙空間でどのようにつくられ、変化してきたのを知ることができるのです。

2022年6月6日、はやぶさ2が持ち帰った「リュウグウ」のサンプルから20種類以上のアミノ酸が発見されるという大きなニュースが日本中を駆けめぐりました。アミノ酸はたんぱく質の構成材料であり、生命の素として欠かせない有機分子です。この発見が地球の生命の起源の謎を解く鍵になるかもしれません。

博物館にもリュウグウの試料のレプリカを展示しているので一度見てみてください。



## 博物館主催 スターウォッチング

- ◆8月6日(土) 17:00~17:45  
「天文学芸員による星空散歩～半月を見よう～」  
場所：プラネタリウム（ドームの中で観察します）
- ◆8月13日(土) 19:30~21:00「夏の星空観望会」  
場所：伊坂ダムサイクルパーク管理事務所付近（きらら号は出動しません）
- ◆8月27日(土) 19:30~21:00「土星を見よう」  
場所：博物館前市民公園



## 編集後記

太陽が元気いっぱい8月がやってきました。日中は暑くて外を歩くのも大変ですが、日が沈むと暑さも和らぎます。夜風にあたりながら、ゆっくりと月を眺めるのも良いかもしれませんね。

今月は8月12日が満月です。ちょうどお盆の時期ですので家族や親戚、友達と一緒に夏の夜空に優しく輝く満月をじっくり見ておきたいものです。

## 8月の月

5日  上弦

12日  満月

19日  下弦

27日  新月

※当日受付・参加無料です。詳しくはHPをご覧ください。  
※天候不良時は中止です。(通常3時間前に決定します)  
※マスク着用、手指消毒をお願いいたします。